交通部



東京モーターサイクルショー

世界一の交通安全都市TOKYOを目指して





子供に対する交通安全教育

交通安全教育

交通事故のない、安全で快適な交通社会の実現に向けて、すべての交通参加者が交通ルールを守るという交通安全意識を持つことに加え、思いやりとゆずり合いの気持ちを持つことが大切です。

子供や保護者、社会人、お年寄りまで、幅広い世代の方々に対する参加・体験・実践型の交通安全教育を実施しているほか、各種交通安全イベントやキャンペーンなどを開催し、交通安全意識の高揚に努めています。


「電動キックボード」の安全な乗り方指導


胸部プロテクター着用の呼びかけ



交通安全広報大使による反射材着用の呼びかけ



自転車ヘルメット着用の呼びかけ



交通事故を防ぐ、簡単だけど、効果のある方法が満載！

警視庁公認 交通安全情報サイト

TOKYO SAFETY ACTION

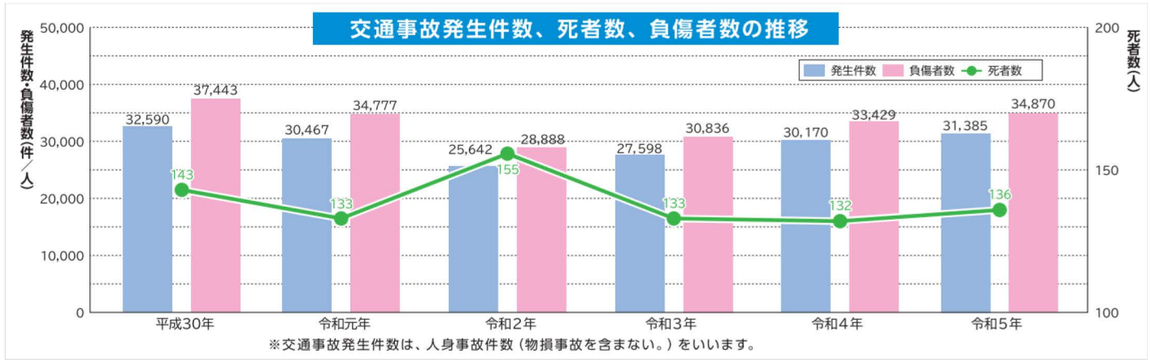
https://www.safetyaction.tokyo/

交通事故の発生状況

令和5年中における都内の交通事故発生状況は、発生件数、死者数及び負傷者数いずれも前年を上回りました。

死亡事故の特徴を見ると、65歳以上の高齢者の死者数が全体の34.6%、歩行中の死者数が全体の40.4%となっています。

交通事故防止について、詳しくはこちらをご覧ください。



※交通事故発生件数は、人身事故件数（物損事故を含まない。）をいいます。